

授業改善書

科目名	国際経営論
担当者	伊藤 孝

授業の概要

日本、アメリカなど主要国に所在する大企業の多くは、今日、本国のみならず諸外国でも活発に生産、販売などの活動を行っています。世界各国で活動をおこなう企業は、世界企業、多国籍企業などと呼ばれています。この講義では、世界企業（多国籍企業）の活動を対象として、国際経営を理論的・体系的に解説します。その際、電機・電子企業のソニー、自動車のトヨタ、などの具体的な産業企業（特に日本企業）の活動を事例として取り上げます。理論的考察を具体的な企業事例であとづけながら講義します。

授業の問題点

クラスを A, B に区分したことで、当初予定した授業計画の半分しか進まなかったことは、やむを得ないとはいえ残念でした。第 2 章の販売の国際化については、最も重要な「第 2 節 直接輸出」について説明しきることが出来たことは幸いです。

学生の授業満足度

学生の授業満足度が高いことにホッとしています。ごく一部の学生を除き、私語もほとんどありませんでした。

今回は、3 年次生が、自発的に研究発表を行ってくれました。30 分のプレゼンテーションで見事に自説を披露したことが印象に残ります。私は、何度か事前にアドバイスをを行いました。本人は良く調べ、大変努力しました。本学部学生の学習意欲の高さを知った次第です。

授業改善の課題と方策

教室授業では、ほとんど質問などが出ないため、授業容についての質問・意見については、隔週の遠隔授業のレポートに記載させました。これについては、今後は、必要に応じて、教室授業の際に紹介して、解説することが必要と考えています。

レジュメ、スライド、統計資料をくみあわせて解説しましたが、スライドについては、図表を入れるなどの工夫が今後必要と思います。

その他